

2019年度公開講座のご案内



山形大学
Yamagata University

2019年度山形大学公開講座実施一覧

講座名	開催期間	開催場所	受講対象者 定員	受講料	頁
冷戦の縁 ^{ひち} ：時代と空間の 区分を考える	2019年 6/17(月)～6/26(水) 18:30～20:10	人文社会科学部 1号館	一般市民・大学 生・高校生 30人	一般市民 2,000円、 大学生・高校 生無料	1
多文化共生と日本	2019年 9月～10月の5日間 (曜日未定) 18:30～20:10	人文社会科学部 1号館	一般市民・大学 生・高校生 30人	一般市民 2,000円、 大学生・高校 生無料	2
データサイエンス入門 ～統計リテラシーを高め よう&人工知能を体験し よう～	2019年 8月24日(土) 13:00～12:00 8月31日(土) 10:30～12:00	地域教育文化学部 1号館情報処理実習室	一般市民・大学 生・高校生 25人	1,000円	3
虫で害虫を倒す：天敵を用 いた生物的防除	2019年 8月31日(土)、 9月1日(日) 10:00～12:00	地域教育文化学部	一般市民・高校 生・中学生 20人(定員以 上の場合、学 生を優先しま す。)	無料	4
「ウォーターレス・リトグラ フ体験」	2019年 10月19日(土)、 10月26日(土)	地域教育文化学部 1号館132教室	一般市民 20人	3,000円	5
理学のフロンティア ～理論、新規材料から生体 機能まで～	八峰祭開催日の午後 (土曜日及び日曜日)	理学部 先端科学実験棟 4階大講義室	一般市民・大学 生・高校生 80人	一般市民・ 大学生 1,000円、 高校生 500円	6
「農学のタベ」 ～総合科学である農学の 魅力を紹介します～	2019年 10/3(木)～10/31(木) 毎週木曜日 18:00～19:30	農学部講義室	一般市民・大学 生・高校生 50人程度	無料	7
ロボット・プログラミング を通して未来の街(スマー トシティ)を考えよう	2020年 3月7日(土) 10:00～12:00	体育館 多目的 室	小学生親子、教 育関係者 60人 (親子30組)	無料	8
小説を書こう！	2019年 6/5(水)～8/7(水) 毎週水曜日、全10回 18:00～19:30	基盤教育1号館	一般市民・大学 生・高校生 30人	一般市民 6,000円、 大学生・高校 生2,000円	9

山形大学における蔵王研究（仮称）	2019年 8月～9月の土曜日 全3回	小白川キャンパス及び山形テルサほか	一般市民・学生 30人	2,000円	10
親子わくわくワークショップ	2019年 7月13日(土)	附属小学校	園児・児童・生徒とその保護者 親子30組60人	1組 500円	11
すこやか広場 「お友達、こんにちは」 ～幼稚園で遊ぼう～	2019年 6月27日(木) 14:30～15:45	附属幼稚園 (園内及び園庭)	2～3歳児 親子50組	200円(材料費・保険代として)	12
すこやか広場 「親子でぺたぺた、まぜまぜしよう」 ～造形遊びを楽しもう～	2019年 9月5日(木) 14:30～15:45	附属幼稚園 (園内及び園庭)	2～3歳児 親子50組	200円(材料費・保険代として)	12
すこやか広場 「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」 ～附幼のお友達との交流～	2020年 1月21日(火) 10:00～11:15	附属幼稚園 (園内及び園庭)	2～3歳児 親子20組	200円(材料費・保険代として)	12

講座名	冷戦の縁 ^{ふち} ：時代と空間の区分を考える
開催期間	2019年6月17日（月）～6月26日（水）
開催場所	人文社会科学部1号館
講座概要	<p>ベルリンの壁が崩壊してからちょうど30年がたちます。1989年11月10日のあの象徴的な出来事を記憶されている方も多いでしょう。あの壁は、何を分けていたのか。ベルリンの壁に象徴される冷戦体制は、世界をさまざまに区分していました。資本主義世界と社会主義世界があり、東と西がありました。第三世界があり、北と南がありました。モダンがあり、ポストモダンがありました。革命があり、独裁があり、解放がありました。豊かさがあり、貧しさがあり、暴力があり、平和がありました。</p> <p>歴史と現在を、日本と世界を、時空間をまたいで日々研究し、教育する教員が人文社会科学部にはそろっています。本講座では、他大学からのゲストも交えて、冷戦という時代構造と空間構造を、歴史的射程から、また、ヨーロッパとアジアから、みなさんとともに考えたいと思います。世界史と自分の歴史がシンクロし、現在と未来の姿が見通せるような時間をともに過ごしてみませんか。</p>
受講対象者 （定員）	一般市民・大学生・高校生（30人）
受講料	一般市民 2,000円、大学生・高校生 無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当（人文社会科学部） （TEL 023-628-4203）

回	日 程	時 間	内 容
1	6月17日（月）	18:30 ～ 20:10	冷戦・冷戦後・ポスト冷戦後、あるいは戦後：ロシアと日本の70年
2	6月19日（水）		エルベ川の向こう岸から考える：中世の「ヨーロッパ統合」と冷戦後世界
3	6月21日（金）		冷戦下の日韓関係：現在への示唆
4	6月24日（月）		抗日と親日の間：冷戦下の台湾社会における「日本」イメージの変遷
5	6月26日（水）		座談会：冷戦の世界史に向けて

講座名	多文化共生と日本
開催期間	2019年9月～10月の5日間（曜日未定）
開催場所	人文社会科学部1号館
公開座概要	<p>これまでの日本は、外国人を受け入れることに積極的ではなく閉鎖的な社会であるといわれてきた。国際社会がグローバル化し、ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて行き交う時代のなかで、日本は年間約3,000万人の外国人が訪れる観光立国に成長した。このように観光地では外国人の姿を目にするようになってきたが、日本は依然として移民や難民の受け入れには消極的であり、外国人と共存する多文化社会になったとは言い難い。</p> <p>日本の少子化は深刻さを増し、日本の社会や経済を支える人手がますます不足する時代が到来しようとしている。そのような人手を補うために、外国人労働者の受け入れを促進すべきか、回避するべきかという論争も巻き起こっている。すでに、農業や漁業の分野においては、外国人の労働力が不可欠なものになっている。今後、日本の高齢化は勢いを増し、介護を必要とする人びとは急増するであろう。しかし、少子化が進行し、介護者が不足するなかで、介護者を補うために外国人労働者の受け入れを積極的に進めるべきであるという主張も説得力を増してきている。2018年12月の出入国管理および難民認定法の改正は、労働力不足を補うために、外国人を積極的に受け入れる動きのなかで行われたものである。</p> <p>欧米諸国は、移民や難民の受け入れに寛容であったが、大規模な流入を前にして、国境の壁を高くするようになってきた。このような閉鎖的な世界の動きのなかで、日本は、移民や難民の受け入れにどのように対応するべきであろうか、移民や難民を受け入れた場合には、どのように共存していけばいいのであろうか。それが問われている。本講座では、この課題を「ナショナリズム」や「多文化共生」、「人権」といったキーワードとともに考えていく。</p>
受講対象者（定員）	一般市民・大学生・高校生（30人）
受講料	一般市民2,000円、大学生・高校生 無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当（人文社会科学部） （TEL 023-628-4203）

回	日 程	時 間	内 容
1	9月～10月の5日間 （詳細は後日公表）	18:30 ） 20:10	後日公表
2			
3			
4			
5			

講座名	データサイエンス入門～統計リテラシーを高めよう&人工知能を体験しよう～
開催期間	2019年8月24日（土）、8月31日（土）
開催場所	地域教育文化学部 1 号館情報処理実習室
講座概要	<p>本講座では、2日間で合計90分×3コマのデータサイエンスに関する講習を行います。</p> <p>世間を賑わせている統計不正問題。本来は「全数調査」すべきところを「標本調査」で済ませていたことに端を発しています。このようなニュースを耳にすると、「標本調査」に悪いイメージを持ってしまうかもしれません。しかし、「標本調査」は中学・高校でも学ぶ由緒正しき方法論で、現代の統計学の基礎になっています。本講座では、「標本調査とその周辺」について入門的な解説をします。また、サンプルデータを使って実際にコンピュータ上で統計分析を実行し、標本調査の結果がどれくらい信用できる（あるいは、できない）ものなのかを体験します。本講座を通じて、今よりも統計リテラシーを高めることが目標です。なお、難易度は高校数学B～大学教養程度（数式は極力使わない）を想定しています。</p> <p>講座の後半では最近話題の人工知能を取り上げます。人工知能を実現する仕組みとして今最も利用されているのが機械学習です。本講座では、機械学習の仕組みについて簡単に触れた後、実際に人工知能に学習させる実習を行います。最初は簡単な例として、コンピュータに「『2と言えば4』、『5と言えば10』、『7と言えば14』、…」と例を教えた後で、「では、3と言えば？」と聞くと「6」と答える人工知能を作成します。最終的には、漫画のセリフや登場人物の名前を自動で生成するような人工知能を目指します。</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生 (25人)
受講料	1,000円
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当（地域教育文化学部） (TEL 023-628-4304)

回	日 程	時 間	内 容
1	8月24日（土）	13:00 } 16:10	統計リテラシー（2コマ）
2	8月31日（土）	10:30 } 12:00	人工知能（1コマ）


講座名	虫で害虫を倒す：天敵を用いた生物的防除
開催期間	2019年8月31日（土）、9月1日（日） ※両日とも参加できる方に限ります。
開催場所	地域教育文化学部
講座概要	農薬の代わりに天敵（虫を食べる虫）を用いて害虫を減らす「生物的防除」を学んでもらいます。講義に加えて、「アブラムシとテントウムシ」の使った実験も行ってもらいます（ただし、虫の発生状況によります）。これらを通じて、新しい農学の知識と思考力を養ってほしいと思います。
受講対象者 （定員）	一般市民・高校生・中学生（20人） ※定員以上の場合、学生を優先します。
受講料	無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当（地域教育文化学部） （TEL 023-628-4304）

回	日 程	時 間	内 容
1	8月31日（土）	10：00	講義① 生物的防除の基礎 実験① 害虫アブラムシを捕食するテントウムシの生態
2	9月1日（日）	12：00	講義② テントウムシとテントウムシの関係 実験② 生物的防除のさらなる理解と応用


講座名	「ウォーターレス・リトグラフ体験」		
開催期間	2019年10月19日（土）、10月26日（土）		
開催場所	地域教育文化学部 1号館132演習室		
講座概要	<p>リトグラフとはもともと、多孔質の石を使う、石版画。アイロスゼネフェルダーが発明し、水と油の反発を利用して製版するもので油性の描画材を使用して描画し、非描画部分にアラビアゴムを作用させて耐水性部分を作り、水を引きながら油性の製版インクを盛って製版します。その後、刷り用インクに盛替えて印刷するという工程をとります。</p> <p>ウォーターレス・リトグラフは近年、逆転の発想によって開発された新技法です。水溶性の鉛筆で描画し、水を使っていた非描画部分をシリコンで固め、水を使わないで製版するのでウォーター・レスと言われます。</p> <p>従来の方は版面を手の汚れが付かないように気をつかったり、一度描いた部分は消せないで確実なデッサン力を必要としました。また、版は壊れやすく繊細で工程がわかりにくく、製版に2日から3日ほどかかりました。</p> <p>ウォーターレスリトは高級印刷のドライ印刷法を一般化したもので工程は非常にシンプルでスピーディーです。版は壊れにくく、鉛筆で描画するので描いたり消したりでき、版面を触っても支障ありません。エコロジー意識から発想されたものなので有機溶剤をしません。もちろんカーボン紙で写したり、直接下書きなしで描いてもかまいません。学校教育やお子さんでも安心して制作できます。</p> <p>ウォーターレスは大学でもとりあげているところは少ない新技法です。ウォーターレスの効果は従来のものを知らないとその凄さが実感できないところがありますが、まずはウォーターレスを体験して、その簡便さを楽しんで頂きたいと思っています。</p>		
受講対象者 (定員)	一般市民 (20人)		
受講料	3,000円		
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当(地域教育文化学部) (TEL 023-628-4304)		
回	日 程	時 間	内 容
1	10月19日(土)	未定	後日公表
2	10月26日(土)		

講座名	理学のフロンティア～理論、新規材料から生体機能まで～
開催期間	八峰祭開催日の午後（土曜日及び日曜日）
開催場所	理学部先端科学実験棟 4 階大講義室
講座概要	<p>現在、山形大学理学部では数学から基礎科学までの様々な領域と、それらの境界領域を含めた研究が活発に展開されています。平成 28 年度より文部科学省の卓越研究員事業により複数名の卓越研究員が理学部の教員として参画し、活躍されています。卓越研究員は新たな研究領域に自立して挑戦する若手研究者であり、それぞれの専門分野と周辺領域をまさに開拓しつつある新進気鋭の研究者達です。平成 31 年度の公開講座では理学の各分野の最先端の研究内容について、卓越研究員でもある 3 名の理学部教員が、一般の方と高校生に向けて、平易に講演いたします。講演内容としては材料科学を物理的な側面から理論計算で明らかとする研究、ナノスケールでの機能性材料の開発に関する研究、植物の光合成に関与する酵素の X 線結晶構造からの新たな知見を紹介していただきます。</p>
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生（80 人）
受講料	一般市民・大学生 1,000 円、高校生 500 円
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課学部総括担当（理学部）（TEL 023-628-4505）

回	日 程	時 間	内 容
1	八峰祭開催日 (土曜日)	午後 (詳細は後日公表)	・講演 1 材料の理論計算
2	八峰祭開催日 (日曜日)		・講演 2 ナノスケールの先端材料 ・講演 3 光合成酵素の構造生物学

講座名	「農学のタベ」～総合科学である農学の魅力を紹介します～
開催期間	2019年10月3日（木）～10月31日（木）毎週木曜日
開催場所	農学部講義室
講座概要	<p>農学とは、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした総合科学です。本講座では、様々な分野からのアプローチで農学を紹介し、「農学」が総合科学であることを感じていただくと共に、その最新の研究について、わかりやすく解説します。</p> <p>農学が、今世紀における人類的課題と言われる人口・食料・環境・エネルギー問題にどのように挑み、どのように貢献しているのかをご紹介します。</p> <p>〈過去の様子〉</p> 
受講対象者 (定員)	一般市民・大学生・高校生（50人）
受講料	無料
お問い合わせ先	鶴岡キャンパス事務部総務課（企画広報室）（TEL 0235-28-2911）

回	日 程	時 間	内 容
1	10月3日（木）	18:00 ～ 19:30	『タマゴ』の世界へようこそ
2	10月10日（木）		地域定住農業者育成事業の現段階
3	10月17日（木）		江戸以前の御来光について
4	10月24日（木）		ICT 技術を活用した近未来の稲作生産システムの開発
5	10月31日（木）		キメラのはなし

講座名	ロボット・プログラミングを通して未来の街（スマートシティー）を考えよう
開催期間	2020年3月7日（土）
開催場所	体育館 多目的室
講座概要	<p>AI（人工知能）が搭載されたロボットと人が共生する時代は間近に迫っています。</p> <p>今の子どもたちが大人になったときには、多くの仕事をロボットが担う時代になっているでしょう。仕事だけでなく身の回りのモノも変化していきます。かつては、テレビやパソコンの所有率が伸び続けていましたが、ここ5年間ほど各家庭のテレビやパソコン所有率が減少しつつあります。この傾向は今後加速するでしょう。この講座では、スマートフォンかタブレットを用い、直感的にプログラムを組むことのできるビジュアルプログラミング言語を利用し、ロボット・プログラミングを行い、未来の街を考えます。</p> <p>また、小学校ではプログラミング教育が導入されることになりましたが、戸惑っている小学校の先生方も多いと聞きます。小学校で導入されるプログラミング教育は、プログラミングスキルを身につけることではなく、プログラミング的思考を育てることです。プログラミングのスキルは持っているのだけど、プログラミング的思考とは何かがわからないという声も聞きます。本講座は、プログラミング的思考を学ぶ事例の一つです。そのため、プログラミングのスキルを身につけることが目的ではありませんので、パソコンやプログラミングの経験は不要です。ただし、スマートフォンかタブレットは必要です。（ない場合はご相談ください）</p> <p>〈関連イベントの様子〉</p> 
受講対象者（定員）	小学生親子、教育関係者（60人親子30組）
受講料	無料
お問い合わせ先	小白川キャンパス事務部総務課総務担当（TEL 023-628-4126）



回	日 程	時 間	内 容
1	3月7日（土）	10:00 } 12:00	スマートフォンかタブレットを用い、直感的にプログラムを組むことのできるビジュアルプログラミング言語を利用し、ロボット・プログラミングを行い、未来の街を考えます。

講座名	小説を書こう！
開催期間	2019年6月5日（水）～8月7日（水）毎週水曜日
開催場所	基盤教育1号館
講座概要	<p>平成26年度以降毎年度継続的に実施しているもので、直木賞作家の高橋義夫氏を講師に招き、エンrollment・マネジメント部 山本陽史教授とともに、小説の書き方を指導する講座。</p> <p>対象者は、趣味として小説を書きたい方からプロの小説家を目指す方まで、年齢・性別・職業等を問わず受講可とする。</p> <p>受講者は聴講のみの参加も可能であるが、原則として未発表の作品を開講期間中に提出することとし、これらの作品について、受講者による合評と講師からのアドバイスをを行う。</p> <p>また、過去に提出された作品から山形の近代史にかかわりの深い作品を紹介する。</p>
受講対象者（定員）	一般市民・大学生・高校生（30人）
受講料	一般市民6,000円、大学生・高校生2,000円
お問い合わせ先	エンrollment・マネジメント部 EM企画課（TEL 023-628-4063）

回	日 程	時 間	内 容
1	6月5日（水）	18:00 ～ 19:30	概要説明・過去の作品紹介
2	6月12日（水）		小説を書くためのアドバイス・過去の作品紹介
3	6月19日（水）		小説の合評とアドバイス
4	6月26日（水）		小説の合評とアドバイス
5	7月3日（水）		小説の合評とアドバイス
6	7月10日（水）		小説の合評とアドバイス
7	7月17日（水）		小説の合評とアドバイス
8	7月24日（水）		小説の合評とアドバイス
9	7月31日（水）		小説の合評とアドバイス
10	8月7日（水）		小説の合評とアドバイス

講座名	山形大学における蔵王研究（仮称）
開催期間	2019年8月～9月の土曜日
開催場所	小白川キャンパス及び山形テルサほか
講座概要	今年度、附属博物館では特別展「蔵王と山形大学（仮称）」を企画し、山形大学創立70周年に合わせ、山形大学の蔵王研究を振り返り、最新の成果を紹介する。この関連企画として、山形大学の教員が樹氷研究を始めとする自然科学、人文科学の両面から蔵王について講演する。
受講対象者 （定員）	一般市民・学生（30人）
受講料	2,000円
お問い合わせ先	附属博物館（TEL 023-628-4930）

回	日 程	時 間	内 容
1	8月～9月の土曜日 （詳細は後日公表）	後日公表	後日公表
2			後日公表
3			雪氷研究大会で行われる公開講演会

講座名	親子わくわくワークショップ
開催期間	2019年7月13日(土)
開催場所	附属小学校
講座概要	<p>「親子で築こう豊かな心・広がる心」～子どもの成長とともに～のテーマのもと、附属小学校の教員が、専門性や個性を發揮しながら、体験の楽しさを味わえるワークショップを開催します。</p> <p>＜昨年の親子わくわくワークショップ 「親子で読もう！英語の絵本～英語の絵本の読み聞かせに挑戦～」の様子＞</p>  
受講対象者 (定員)	園児・児童・生徒とその保護者 (親子30組60人)
受講料	1組500円
お問い合わせ先	附属小学校 (TEL 023-641-4444)

回	日程	時間	内容
1	7月13日(土)	2時間	後日公表

講座名	すこやか広場
開催期間	2019年6月27日(木)、9月5日(木)、2020年1月14日(火)
開催場所	附属幼稚園(園庭を含む)
講座概要	<p>幼児期は人格形成においてとても大切な時期です。豊かな遊びを体験し、周囲の温かい愛情と支援を受けて健やかに成長していきます。</p> <p>本講座は、3回シリーズで開催します。子どもへの関わり方のお話や親子で実際に遊びながら親子のきずなを深め、幼児期の子育てについて楽しく学んでいきます。</p>
受講対象者(定員)	第1回2～3歳児(親子50組)、第2回2～3歳児(親子50組) 第3回2～3歳児(親子20組)
受講料	各回200円
お問い合わせ先	附属幼稚園(TEL 023-641-4446)

回	日 程	時 間	内 容
1	6月27日(木)	14:30 } 15:45	「お友達、こんにちは」～幼稚園で遊ぼう～
2	9月5日(木)	14:30 } 15:45	「親子でぺたぺた、まぜまぜしよう」～造形遊びを楽しもう～
3	1月21日(火)	10:00 } 11:15	「お兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」～附幼のお友達との交流～